

# ニッポン ドクター和の 臨終図巻



フォークグループ、ソルティ  
ー・シユガーの『走れコウタロ  
ー』が流行したのは1970  
年。僕が12歳のときです。それ  
までのフォークソングはどこか  
暗くて、とっつきにくい作品が  
多かった。だけどこの歌は軽快  
なテンポで歌詞も単純。遅刻し  
そうになった時、頭の中でサビ  
の「走れ〜走れ〜」を繰り返し  
ながら学校までダッシュしたも  
のです。

そのボーカルとして一躍名を  
馳せ、その後タレントや作家、  
大学教授などマルチに活躍され  
た山本コウタローさんが7月4  
日に都内の自宅で亡くなりまし  
た。享年73。死因は、脳内出血  
との発表です。

## 265 歌手 山本コウタロー

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

激しい頭痛や吐き気、半身の痺れや麻痺、呂律が回らない、またはものが二重に見えたり、視野が半分欠けるといった症状があった場合は、迷わず救急車を呼びましょう。

山本さんは長年、平和活動にも力を入れており毎年8月の広島での核兵器廃絶のためのコンサートを提案したのも彼だったそうです。南こうせつさんと一緒にプロデュースしたこの催しは、大友康平さんや安全地帯などビッグア

## マルチな才能で平和を願った

関係者によれば、自宅で亡くなっている山本さんを4日の未明にご家族が発見したとのこと。ここ数年は体調を崩し、静養中だったそうです。しかし、死の直前までメールのやりとりもできていたそうで、特に終末期という認識でもなかったようです。

脳内出血は、脳梗塞、クモ膜下出血とともに脳卒中(脳血管障害)のひとつ。脳内の細い血管が脆(もろ)くなり、破れて出血した状態を

ーティストが次々と参加し10年に亘って続けられたとか。その後も山本さんらは、原爆養護ホームに行ったりミニコンサートを続けていました。中国新聞の記事によれば、コンサートでの山本さんの合言葉は、「平和がいいに決まってる!」。こんな時代だからこそ、よけい胸に響く言葉ですね…。

山本さんといえば、忘れられないのが、1974年に大ヒットした『岬めぐり』です。恋人と一緒に行くこと約束した「岬」。しかし約束は叶わず、歌の主人公はバスに乗って一人、岬を巡る旅に出るというせつない歌詞。

昔付き合っていた彼女と、これは「失恋」の歌なのか、はたまた「死に別れ」の歌なのかと歌詞を眺めて論争をしたのも、遠い記憶となりました。

